

# 活セン ニュース

2018年 8月号

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834

市民活動センターは、住みよいまちづくりをすすめる市民活動団体、ボランティア団体などの活動をお手伝いする、あなたのセンターです。皆さんにとって使いやすいセンターを目指しています。ご意見、ご要望をどんどんお寄せください。

## NPOカフェ 開催します

いろいろなテーマで、話をしましょう。  
参加資格はありません。年齢、性別問わず、  
テーマに興味のある方が自由に討論し合う  
場として開催します。

つながりを作ります。  
地域の課題に向き合える仲間を募集  
します。

月1回程度、開催していきます。  
テーマについて、ご意見ご要望お寄せください。

まず1回目、開催しま～す。お越しく下さい。



### 第1回テーマ「地域おこして何??」

全国で「地域おこし」って言葉を聞きます。でも地域おこして何?

日時 9月15日(土) 9:30~11:30

場所 市民活動センター会議室

約束事：個人の悪口、非難はダメ、楽しい前向きな話をしましょう

## あじさいの家 支援バザー

7月15日（日）山郷重度障害者生活支援センターで、恒例のあじさいの家支援バザーが開催されました。同センターは、何の支援もなく施設長の自己資金で開所しました。資金の助けになればと、心ある支援者が集まり、この支援バザーが始まりました。

この日は猛暑。まさにうだるような暑さの中、焼きそば、五平餅焼きは、大変な作業になりました。しかし、多くの方が会場に訪れました。



舞台出演者も、一生懸命会場を盛り上げていました。

「あじさいの家」の仲間たちは、重度の障がいがあるため、地域で暮らしていくには、多くの方の理解と支援が必要です。これからも皆様のご理解ご支援を宜しくお願いします。

「あじさいの家」の仲間たちは、重度の障がいがあるため、地域で暮らしていくには、多くの方の理解と支援が必要です。これからも皆様のご理解ご支援を宜しくお願いします。

フラダンスを披露していただいたみなさんに、岡本さん、入居者の仲間よりお礼

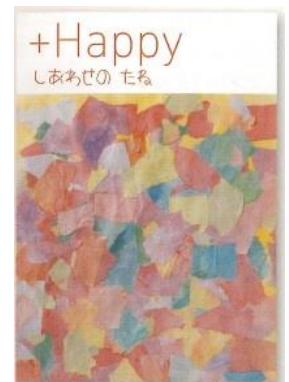


## プラスハッピー 21+Happyの天使たち ~やさしさをありがとう~

6月23日、24日、イオンモール東員店で、「第5回 ママたちの写真展」が開催されました。

これは東海三県のダウン症の子どもを持つ親の会「21+Happy」のメッセージを添えた写真展です。メンバーのひとり、小川さん（大安町在住）の3歳で亡くなったお子さんはダウン症でした。小川さんは同じ境遇のご家族に寄り添いたいとこの会に参加しています。

「同じ想いを持った方がきっといなべ市にいるはず。ここに来れなかった方にもぜひこの活動を知ってほしい」と小川さんは言われます。



日本ダウン症協会よりお知らせです。

ダウン症のあるお子さんのための母子手帳を兼ねた「子育て手帳」が完成しました。

もっと穏やかに過ごす時間を増やしてほしい。産後間もない母親に、次の一步を踏み出してほしい。そんな願いを込めて手帳ができました。

詳しくは

日本ダウン症協会 bosyu@jdss.or.jp までお問い合わせください。

### 21+happy とは

SNS を中心に活動するサークル。メンバーは、主に東海地区に暮らすダウン症をもつ子の家族（会員数 253 人）。楽しく、幸せに暮らしている家族の姿を通じて「知ってもらおう」活動を続けている。





メシエレいなべ員弁地区が7月9日(月)、西保育園・子育て支援センターにて人形劇を開催しました。泣く子もだまる人気絵本『だるまさんシリーズ』が人形劇団パンさんオリジナルの人形劇になっています。35組限定で、すぐ埋まったそうです。2歳までのお子さんがほとんどですが、劇が始まるとみんな一生懸命見入っていました。

その後、メシエレさん手作りのかぼちゃプリンやジュースなどが振る舞われ、お茶をしながら人形劇や子育ての話がはずんでいました。

地域や世代間のふれあいを大切に、という想いでこの企画は毎年実施されています。本年度は「子どもの人権を守る」をテーマに、4町それぞれのカラーを出した内容になっています。安心して子どもが育つまちに。メシエレさんの想いが詰まった温かい交流会になりました。



はつやすみだよ! 夏のオープンスクール開催中

いなべこども活動支援センター

子どもたちのこころ豊かな成長を願って、当センターの登録団体が応援します。



麻の葉クラブ らくらくソーイング

いま、家庭科の授業が少ないと聞きます。昔は手縫いで小物から服まで、なんでも作っていました。おばあちゃんから孫へ、手しごとを伝えていく。教わりながら、真似ながら、ひと目ひと目縫い上げていく。糸通しは、私の方が得意～! そんな雰囲気の中、できあがった小物入れには何を入れるのかな? (7月26日(木)開催)

員弁地区更生保護女性会

ばあばの料理教室

「自分たちの子どもの運動会には、朝早くから巻きずしといなりずしをたくさんつけて、応援に行ったものよ」と更生保護女性会のみなさん。その作り方を子どもたちに知ってもらおう。事前に打ち合わせ、レシピの確認、リハーサルと念入りに準備をします。今回は、伝統的な巻きずしに加え、花の飾り巻きにも挑戦しました。巻き簾を使って巻く子どもたちの手に、そっと手を添えるメンバーさん。切り口を見て大喜び。「ばあば」と、「まご」の楽しい料理教室でした。(7月30日(月)開催)



# お知らせ

## みえ市民活動ボランティアセンター（津市）にて開催

◆講座「1から始める調査の方法」 ～地域に必要とされる支援～

8月18日（土）13:30～16:00 定員20人 参加費2,000円

◆個別会計相談会

8月25日（土）①13:00～ ②14:15～ ③15:30～

事前に予約 3団体のみ先着順です。

◆三重NPOグランプリ 開催

グランプリ1位 15万円 2位 5万円

応募期限 8月末日 1.書類審査 2.予選プレゼン 3.12月に本選プレゼン開催

どんどん応募してください！！

## >>>今年のスマイルフェスタ反省会（7月13日）

今年のスマイルフェスタは、いなべ市商工会の「あじさい祭り」がなくなって単独開催となりましたが、天候も良く予想を上回る来場者になりました。（2日間の来場者、約3500人）また、企業を含む80団体が参加し、新規団体の参加も増えました。

### 反省会での意見

- 今回は、特に若い人の来客が多かった。子育てサロンが開催されていたことが理由？
- こども写真館、中学生の料理コンテストをもっとPRすべきだった。
- いなべ警察署の劇の時、会場がざわついて聞きにくかった。
- 車いすでの来場者が、スロープをふさがれていて困ったとの申告があった。
- 日曜日、終了後の片付けがスムーズで皆さんの協力がよかった。
- このフェスタは、今後も続けていくイベントだと思う。
- キッチンカーが来ていることを知らなかった人がいた。もっとPRを！
- 会場で「のぼり」を立てている団体があったが、舞台が見えず邪魔だった。

いろいろなご意見をいただきました。次年度の開催は、今後皆さんと一緒に考えていきます。ご意見、ご要望をお待ちしています。

## いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 老人福祉センター内

TEL (0594) 74-5806 FAX 74-5834

E-mail [i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp](mailto:i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp)

HP <https://inabeshiminkatu.jimdo.com>

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

